

四国遍路文化のユネスコ世界遺産暫定登録
に向けての緊急アピール

2006年11月6日

社団法人徳島経済同友会
土佐経済同友会
愛媛経済同友会
社団法人香川経済同友会
四国遍路文化調査委員会

四国遍路文化のユネスコ世界遺産暫定登録に向けての緊急アピール

四国4県経済同友会は、平成12年7月14日に共同提言「四国の遍路文化を世界の人々にー四国遍路文化情報発信の提言ー」を四国各県知事宛に提出した。

四国遍路文化を四国活性化の拠点と位置づけ、ユネスコ世界遺産登録を目標として、知事直轄の推進機関の設立、遍路道や休憩所等のインフラ整備、四国遍路文化の県内外へ向けた情報発信等の7つの提言を行った。

提言後の活動をみると、行政サイドでは、四国4県で構成される「いやしのくに四国交流推進協議会」が設置され、ホームページによる情報発信およびシンポジウムの開催、首都圏におけるパネル展の実施等の事業が展開された。その他、国・県の各部署においても四国八十八か所を示す標識や案内板等の整備が進んでいる。

民間サイドでは、本年6月に「NPO法人へんろとおもてなしのネットワーク」（代表：四国旅客鉄道(株)会長 梅原利之氏）が設立され、お遍路さんに対するお接待運動が展開されている。また、「四国へんろ道文化世界遺産化の会」（代表：四国霊場五十八番札所仙遊寺住職 小山田憲正氏）等、四国各県各方面で遍路文化推進の活動が活発に行われている。

その他、四国遍路をテーマにした映画・テレビ番組放映、新聞掲載、書籍出版等が相次いで実施されている。

これらの各方面の現状を踏まえると、四国内外の四国遍路文化に対する認知度、四国4県県民の理解度は高まったと言えよう。

また、先般、文部科学省文化審議会において、現在4件（うち2件は世界遺産への推薦が決定）と非常に少なくなっている世界遺産暫定リストについて、追加対象を選定する「世界文化遺産特別委員会」の設置が発表された。このように、国が地方自治体からの積極的な登録物件の提案を求めており、世界遺産候補を拡充する動きにあることを捉えても、今が四国遍路文化のユネスコ世界遺産登録に向けて具体的に行動を起こす絶好のチャンスであるといえる。

4県経済同友会は、10月30日に四国遍路文化調査委員会を開催し、前述の7つの提言のその後の検証を行うと共に、四国遍路文化のユネスコ世界遺産登録に向けた取り組みが前進することを期待し、以下2点を各県へ再度提言することを決議した。

- ①「四国4県による四国遍路文化のユネスコ世界遺産登録推進協議会」を一刻も早く立ち上げること。
- ②4県が歩調を合わせて、今般の世界遺産暫定リスト追加物件の提案締め切りである11月30日までに文化庁へ申請すること。

2006年11月6日

社団法人徳島経済同友会
土佐経済同友会
愛媛経済同友会
社団法人香川経済同友会
四国遍路文化調査委員会

社団法人徳島経済同友会

代表幹事 山下直家
代表幹事 近藤紳一郎

土佐経済同友会

代表幹事 千頭邦夫
代表幹事 岡内啓明

愛媛経済同友会

代表幹事 中山紘治郎
代表幹事 稲葉隆一

社団法人香川経済同友会

代表幹事 木村大三郎
代表幹事 小川和彦

四国遍路文化調査委員会 委員

仁田 忠宏	(社)徳島経済同友会	幹事
坂田 千代子	(社)徳島経済同友会	評議員
和田 均	土佐経済同友会	観光振興委員会委員
鈴木 欽次郎	愛媛経済同友会	副代表幹事・地方行財政改革委員会委員長
中越 眞	愛媛経済同友会	幹事・地方行財政改革委員会副委員長
●三谷 安治	(社)香川経済同友会	副代表幹事 (遍路文化調査特別委員会担当)
豊本 隆光	(社)香川経済同友会	常任幹事・遍路文化調査特別委員会委員長

●=委員長

本件に関する連絡先

土佐経済同友会 事務局

〒780-0823 高知市菜園場町1-21

四国総合ビル3F 四銀キャピタルリサーチ(株)内

TEL:088-885-6707 FAX:088-883-1156

メールアドレス：tosadoyu@orange.ocn.ne.jp